

## 平成 30 年度 第 1 回横浜市勤労者福祉共済運営審議会会議録

《日 時》 平成 30 年 6 月 22 日(金) 10 時 00 分～11 時 00 分

《開催場所》 横浜市技能文化会館 5 階特別会議室

《出席者》 柴橋会長、石田副会長、石原委員、大澤委員、内山委員、沢田委員、磯上委員、窪田委員、木場委員、齋藤委員、鈴木委員、福田委員、中村委員

《欠席者》 伊藤委員、

《開催形態》 公開(傍聴者 0 人)

《議 題》 (1) 平成 29 年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について  
(2) その他

《決定事項》 (1) 会議録確認は、齋藤委員が行う。  
(2) 平成 29 年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について、議案どおり了承された。

《議 事》

### 【開 会】

(事務局) 定刻になりましたので、平成 30 年度第 1 回横浜市勤労者福祉共済運営審議会を開催いたします。それでは柴橋会長から開会宣言をお願いいたします。

(会長) 平成 30 年度第 1 回横浜市勤労者福祉共済運営審議会を開催いたします。よろしくお願ひします。

### 【会長挨拶】

### 【市民経済労働部長挨拶】

(事務局) それでは、ここから後の議事進行を柴橋会長をお願いいたします。

(会長) はじめに事務局より出席者の御報告をお願いいたします。

### 【出席委員数報告】

(事務局) 本日御出席の委員数を報告します。現時点で 14 名の委員のうち 13 名の委員に御出席いただいております。したがって、横浜市勤労者福祉共済条例第 16 条第 2 項に規定されている定足数を満たしておりますことを報告します。また本会議の傍聴者はございません。

(会長)ただ今、事務局から報告がありましたとおり、出席委員が定足数を満たしており、本審議会が有効に成立しておりますことを御報告申し上げます。

なお、前回「平成 29 年度第 3 回横浜市勤労者福祉共済運営審議会」の会議録について、中村委員に御確認いただいておりますことを御報告申し上げます。

それでは議事に入る前に、「審議会運営要綱第 6 条第 2 項」による会議録の確認などについて、本日の審議会の会議録確認者の提案をさせていただきます。これまで順次確認をお願いしてまいりましたが、今回は齋藤委員にお願いしたいと思っておりますがよろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし。

### 【議 事】

(会長)まず初めに、議事(1)「平成 29 年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について」、事務局から報告願います。

(配付資料に基づき、平成 29 年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について事務局から説明)

(会長)それでは、ただ今の議事(1)「平成 29 年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について」、御意見、御質問などがございましたらお願いします。

(委員)今後いかにサービスの利用を増やすかということですが、情報提供という意味で紙媒体だけではなく、多様な媒体によってサービスを周知すれば、利用する方が増えるのではないかと思います。実績を見ると利用に関してはまだ伸びる余地があると思いますので、御検討をお願いします。

(事務局)委員からの御意見について、特に若い方などが紙媒体以外の情報を利用されることは多いと思っており、我々も一部検討を始めています。まずメルマガについては、メールアドレスを会員様から頂いていないため、個人情報の取扱いに留意しながら慎重に検討させていただきたいと考えております。また SNS サービスについても、個人情報の取扱いに留意しながら可能なことについて検討を進めていきたいと考えております。

(会長)他に御意見、御質問がないようでしたら、議事(1)「平成 29 年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について」御確認をいただいたということでよろしいでしょうか。

(各委員) 異議なし。

(会長)本日委員の皆様にご足運びいただきましたので、お一人ずつ御意見を頂戴できればありがたいと思います。

(委員) 社員の意見を聞いたところ、格安のバーベキューができる企画があると嬉しいと言っておりました。最近は様々な所で気軽にバーベキューができるところが流行っているようですが、なかなか価格が高く、準備が大変で敷居が高いというところがあるので、みんなで楽しめるような、また会社単位でバーベキューなどの企画があると、交流を深めるのではないかという意見がありました。

(事務局) 7月の会報誌にバーベキューの割引チケットを掲載しております。去年は他のバーベキュー施設もお安く利用できる仕組みも掲載いたしました。委員がおっしゃるようにバーベキューのニーズは非常に高いと感じておりますので、引き続き掲載していきます。

(委員) 会社の担当者にハマふれんどへの意見を聞いたところ、被共済者の名簿が欲しい時に、代表者印を押した申請書を事務室に提出しないと提供できないという点で、氏名だけの名簿はもっと簡易な手続きで提供いただけないか、ということを言われました。また、社員が加入報奨金をいただきましたが、本人は喜んでいた反面、ハマふれんどの給付金制度を本人が知らず、もう少し社員に周知をする必要があると思いました。あとは個人的な意見ですが、最近ではペットと行けるバスツアーなどがありますが、まだ値段が高いのでハマふれんどのサービスとしてあったらうれしいと思いました。

(事務局) 最初に御意見いただきました名簿の御提供について、こちらは個人情報になりますのでできるだけ厳格に扱わせていただきたいと思います。申請する際に会社として提出していることを確認するため、御理解頂きたいと思います。

またペットに関するサービスについて、以前ペット関連のサービスについて御要望があったため、会報誌にペットと泊まれる宿を掲載しました。バスツアーについては今後検討しまして、可能であれば掲載をしたいと思います。

(委員) 会員数、事業者数共に増加しておりますので、横浜市さんと事務室さんの努力に感謝しております。ただ実績から見ると、サービスもいろいろありますので、利用されていない方がサービスを利用できるようにお願いしたいと思います。会員証も手元に持っていない方もいると思いますので、再度会員証を確認して利用を勧めていくような周知をしたらどうかと思いますが、会員証呈示のサービスというのは結構あるのでしょうか。

(事務局) ベネフィットステーションのサービスでは、例えばカラオケなどが会員証呈示で安く利用できるようになっております。ただ会員証がないと機会の喪失につながってしまいますので、会報誌などでも改めて会員証について案内することを考えております。ハマふれんど事務室で会員証の再発行も承っておりますので、丁寧に御案内することで、御利用の遠ざかっている方に対する取組をしていきたいと思っております。

(委員) 会員が増加傾向ということでは、事務局さんや横浜市さんの周知や呼びかけが大きいと思いましたが。ただ利用実績について、まだ利用されていない方がいるという点が以外に思っています。従業員の中でも宿に泊まると割引がもらえるサービスなどもあるというのを私自身知らなかったというのがあります。また被共済者番号とは何ですか、ということ社員から聞かれることもあったので、会員証の案内をすることは有効だと思います。

(委員) 先ほど会員証というお話がでしたが、店舗に会員証利用できます、という案内があれば、使っていただける機会が増えるのではないかと、というお話があったかと思えます。会員証呈示でハマふれんどサービスを利用している方もいるというPRをしていったらよいかと思えます。最近の事業を見ますと、内容としてタイムリーなものが多く、要求されていることを随分研究されていると思えます。私の子供夫婦は共働きですが、生活を支えるサービスというところをさらに充実していただけるとありがたいと考えています。共働きでなかなか家事ができない状況もありますので、家事サービスの充実や、介護のサービスなどはこれからニーズが多くなると感じています。

(事務局) 委員御指摘のとおり、共働きで働かれている、生活に役立つものを探している方々に伝えられるように、会報誌等を構成していければと思っておりますので、本日の御意見は今後反映させていきたいと思えます。

(委員) 前回お話しした、ホームページのログイン方法についてだいぶ改善されたと思えます。ありがとうございました。また広告について、市営地下鉄などに掲示する他に、横浜市のホームページでハマふれんどの広告掲示をすれば、より浸透すると思えます。

(事務局) 今御意見いただいた、横浜市のホームページに掲載についてですが、少し見やすい部分に掲出いたしました。今後より分かりやすい形でPRしていきたいと思えます。

(委員) 社員の意見を聞いたところ、イベントや各種申込みをする時に、用紙に記入してFAXとか封書で送るといった申請方法について、若い人は簡易に申込みできる方法があればいいという意見と、後は人気のあるサービスが抽選になるのは仕方がないのですが、抽選に外れた時のフォローがあればいいという意見がありました。零細企業にとってハマふれんどは福利厚生のかなたの大きな助けになっていますので、今後とも利用させていただきます。

(事務局) お申込みの受付はFAX、郵送、WEBやお電話等で受け付けております。ハマふれんど事務局で会員様からのお問合せ、お申込みを承っておりますので、お気軽にお問合せください。また、人気のあるサービスについては御希望どおりお答えできない場合があります。会員様が少しでも多く当選できるように、収支のバランスを見ながら検討させていただければと思えます。

(委員) 会員情報の取扱いについて、横浜市さんは非常に慎重に取り扱っていますが、WEBマーケティングなどもニーズのある人にとっては利便性のある話だと思います。将来的にはサービスとして取り入れたり、マーケティングに生かしたりするのが今後必要な方向性だと思いますが、そういった御準備などしているのでしょうか。

(事務局) WEBのマーケティングについては、今研究する一方でセキュリティや個人情報はしっかりと保護した上で、サービス提供をできるか検討しております。

(委員) サービスの利用について、非常に魅力的な事業やサービスがあって、実際使ってみてほしいと思っても、一歩踏み出せない部分というのがかなりあると感じています。社員に聞いてみると、利用したいが少し面倒だとか、機会を逃してしまったという声もありました。利用していない方が踏み出せるような丁寧な説明が必要になってくるのかと思います。サービス提供事業者様がレジだとか店舗にハマふれんどのサービスが使えます、というようなステッカーなどを店先に貼っていただくなどすれば、ハマふれんどのPRにもなりますし、提供事業者側も自分の店舗のPRになると思います。

(委員) 個人情報の問題が解決できれば、例えば会員証などを更新の時に会員宛に配信すれば、普段持ち歩かなくても店舗で呈示できるかなと思います。今はみなさんスマートフォンをお持ちなので、会員証の電子化対応ができるのではと思います。

(委員) 弊社はチケットを申し込んで当たれば参加するという利用が多いのですが、会員証を使って割引を受けるということもできればと思います。会員証も長くなるほど、どこへしまったかわからなくなってしまうのが現状だと思います。例えば簡易な会員証などを5年に一度とか一斉に発行するなど、検討いただけたらと思います。また先ほどの生活支援サービスですが、もっと具体的なサービス名を挙げて提供する方が利用しやすいと思います。たとえば台所とお風呂の清掃とかお買い物だけとか、短時間で済むサービスを提供する方が低コストで利用しやすいと思いました。

(委員) 当方も全職員合わせて100名程度おりますが、ハマふれんどを利用する人と利用しない人、忘れている人もいると思ひまして、社内でどのように利用してどんなメリットがあったかというのを職員会議で発表してもらうようにしました。その時に会員証の存在を知らない人が結構いました。今の若い方は皆さんスマートフォンを持ってらっしゃるので、スマートフォンの中で手続きが完結していただけたら利用しやすいかと思ひますし、どこの施設で利用できるということが分からないという職員が多かったので、対策を検討していただけたらと思ひます。

(事務局) 会員証のWEB化については、引き続き検討していきたいと思います。WEB上でサービスを確認できるところまでは来ておりますので、やはり最初の被共済者番号などを丁寧に改めて御案内することから順次取り組みたいと考えております。ベネフィットステーションのサービスについては、スマートフォンの会員証の呈示で利用できるサービスも多くあります。ハマふれんどの会員証と少し使い方が異なりますので、そこは一度周知したいと思います。

(委員) 会報誌はいつも楽しみに見ております。私の周りでもサービスを利用している人はいると思いますが、やはり新しく使う人は少ないかもしれませんので、利用について社内に向けて周知したいと思います。会員証の再発行についても知らない人が多いと思いますので周知したいと思います。

(委員) 申込みについて、ベネフィットステーションでクレジットカード番号の入力が必要なものがありませんでした。申込みにクレジットカード番号を入れるシステムだと申込みに少し躊躇すると思いました。

(事務局) 事前決済で支払いをするサービスは、どうしてもクレジットカード番号を入力する必要がありますが、利便性を上げるために企業側と交渉を続けてまいります。懸念事項である、決済情報を入れて悪用されないかという点ですが、ベネフィット・ワンとしてきちんとセキュリティを強化しており、今まで個人情報の流出事故等は一切ありませんので、御安心ください。

(会長) たくさんの御意見を頂戴しまして、有意義な情報交換ができたと思います。他に御意見、御質問がないようでしたら、議事は全て終了とし、事務局に進行をお戻しいたします。

(事務局) 本日は貴重なお時間を頂きましてありがとうございました。次回の審議会につきましては、来年の3月頃に、平成31年度の事業計画などを御審議いただく予定でございますのでよろしく申し上げます。以上をもちまして本日の審議会を終了いたします。

《 資 料 》 議事(1)「平成29年度横浜市勤労者福祉共済事業の実績について」